

<取材のお願い>

2022年10月17日

宮崎県立延岡高等学校

JST さくらサイエンスプログラム推進本部

タイと日本の高校生が工業発展と人々の安全な暮らしについて学ぶ ～国境を越えて活躍する科学技術人材の育成を目指して～

宮崎県立延岡高等学校では10月23日(日)～10月29日(土)、タイのスアンクラブウィッタヤライ校から高校生12名、教員3名を招き、国境を越えて活躍する科学技術人材育成を目指した高校生交流プログラムを行います。

タイでは近年、自動車の排気ガスによる大気汚染、生活排水や工場排水による水質汚濁などが深刻化しており、有害廃棄物が原因となる環境汚染が最も重大な環境課題となりつつあります。一方、宮崎県高千穂町には旧土呂久鉦山における亜硫酸製造などによる地域住民の健康被害が明らかになった過去があり、現在はその教訓を生かした持続可能な社会づくりを実践しています。また、日本有数の工業都市である延岡市では、1971年に旭化成工業(現旭化成)と公害防止に関する協定を締結し、市民の暮らしを守るため、様々な活動を行っています。

本プログラムでは、九州保健福祉大学生命医科学研究所の研究者、高千穂町を含むユネスコエコパークなどでのフィールドワークをとおして、タイと日本両国の高校生が工業発展と人々の安全な暮らしについて協働的に学び、考えます。また、最終日には、プログラムで学んだことをもとに「環境に配慮した工業都市づくりを実現するには？」をテーマにディスカッションを行いながら共同でポスターを作成し、日本とタイの異なった観点から解決策を導き出します。

本プログラムは科学技術振興機構(JST)主催の「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)」*に採択されたものです。なお、両校の高校生たちは7月～9月にかけて「フードスタンプを用いた常在菌の比較研究」というテーマでオンラインによる共同研究を実施しており、プログラムの前半では、その成果発表会も行います。

つきましてはご多忙中とは存じますが、両国の高校生たちが共同研究の成果を発表する様子、九州保健福祉大学にて講義を受ける様子、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークでのフィールドワークの様子などを取材して頂きたいようお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の菊次淳教諭へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

【実施内容】

- 「フードスタンプを用いた常在菌の比較研究」共同研究成果発表会
- 九州保健福祉大学訪問
- フィールドワーク（祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク）
- ディスカッションおよび共同ポスター作成「環境に配慮した工業都市づくりを実現するには？」
- 成果発表会

【研修日程概要】

- 10月23日（日）午前 羽田空港到着
午後 国立博物館見学
- 10月24日（月）午前 東京から延岡へ移動
午後 オリエンテーション、書道体験、歓迎行事、部活動体験
- 10月25日（火）午前 学校授業体験
午後 共同研究成果発表会、研究者によるフィードバック
日本文化体験
- 10月26日（水）終日 九州保健福祉大学生命医科学研究室訪問
- 10月27日（木）終日 フィールドワーク（祖母・傾・大崩ユネスコパーク）
高千穂高校において公害と環境保護に関する講話
高千穂峡を橋の上から見学 または 岩戸神社の見学
- 10月28日（金）午前 ディスカッションおよび共同ポスター作成「環境に配慮した工業都市づくりを実現するには？」
午後 成果発表会（共同ポスター発表）
- 10月29日（土）午前 宮崎空港へ移動
午後 羽田空港より帰国

* 「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」

科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

宮崎県立延岡高等学校 教育開発部

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

（担当：田中(禎)、太田）